

分野名：団体育成・サークル活動

高齢者見守りネットワーク協議会での防災の取組みについて

～見守り活動と災害時の要支援者避難について～

行橋市 中央公民館 【公立公民館】

館長 寺尾 一紀

1. 事業名

仲津校区高齢者見守りネットワーク（心配り・気配り・目配りネットワーク）

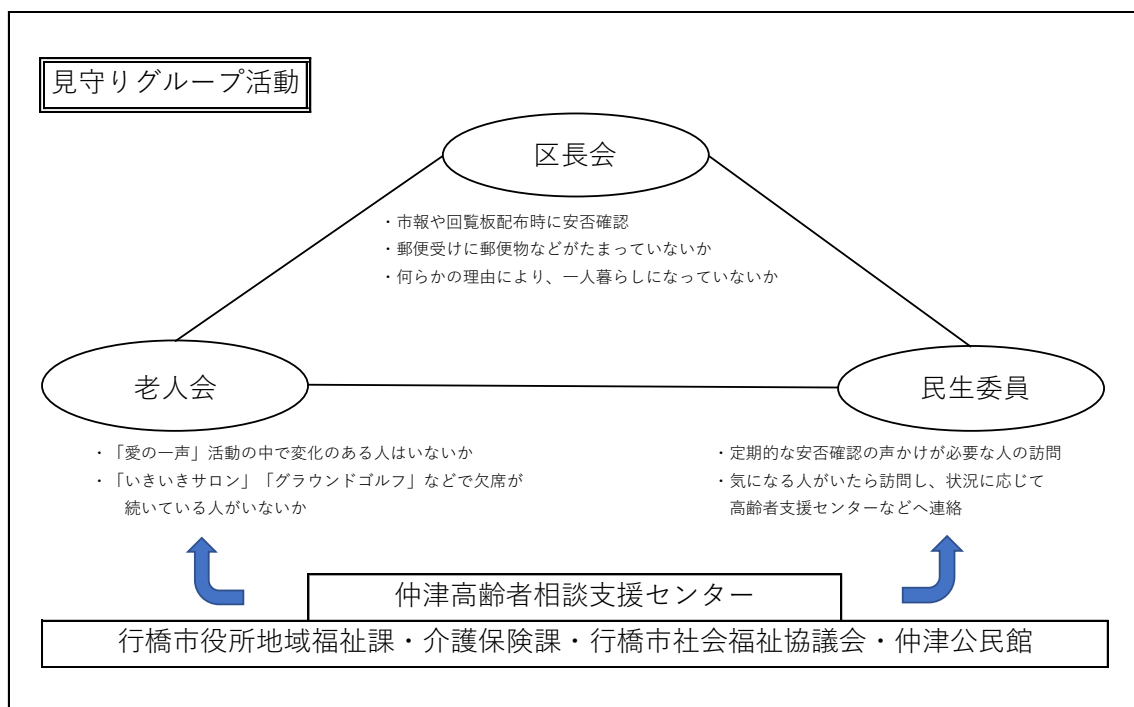
2. 事業の目的

日頃から顔の見えにくい災害時避難行動要支援者を含む、要配慮者などの所在を確認することで、災害時の声かけや避難の支援にどのような手助けが必要か、また安全に介助するにはどのような準備が必要になるのかを実際に確認すること。

校区全体（26行政区）を対象に、要支援者と共に安全に避難行動をすることを目的とする。

3. 事業の実施主体

仲津高齢者見守りネットワーク協議会（仲津公民館）



4. 連携・協力機関・団体等

区長会、民生委員、老人会、行政（市役所地域福祉課、介護保険課）、社会福祉協議会、高齢者相談支援センター、仲津公民館

5. 実施に至る経緯

仲津校区は行橋市の中でも高齢化率が高く、認知症高齢者の割合も高い。その状況の中で徘徊行方不明者が発生し、数日後に死亡して発見された事例もあった。徘徊行方不明者を出さないためには、地域住民との顔の見える関係をつくり、校区民全体で見守り活動ができるよう、区長会を中心に民生委員、老人クラブなどの協力団体を含む「仲津校区高齢者見守りネットワーク協議会」を平成28年4月に発足させ、事務局を仲津公民館に置いた。

同年より、認知症サポート養成講座、徘徊声掛け模擬訓練、地域の繋がりを考えるワークショップや福岡市南区における先進地視察などを開催し、その中で「災害時の要支援者の避難」について、今後検討することを確認し、平成30年中に仲津校区一斉の避難訓練を開催することとした。

6. 事業の内容

平成28年度

- 認知症サポーター養成講座（高齢者相談支援センター）
- 徘徊声かけ模擬訓練（市介護保険課共催 130名参加）

平成29年度

- 地域の繋がりを考えるワークショップ
- 「行橋市地域福祉計画」について（市地域福祉課）
- 世代間交流（小学校5、6年生通学合宿）
（中学校1年生認知症サポーター養成講座）

平成30年度

- 先進地視察研修（福岡市南区東若久ふれあいネットワーク）
- 「災害時避難要支援者」に係る防災訓練準備委員会の立ち上げ
- 防災講演会「住民として災害時準備しておく事」（市社会福祉協議会共催）
（九州防災パートナーズ 藤澤健児氏）
- 防災マップづくり

令和元年度

- 高齢者相談支援センターとの連携についてのワークショップ
- 行政区単位での防災訓練、研修への協力
 - ・畠田西二区防災避難訓練（137名参加）
 - ・畠田東区初期消火訓練、防災啓発ゲーム（50名参加）
 - ・稲童出屋区「ハザードマップの解説」避難場所について（市防災危機管理室）
 - ・道場寺東部、畠田西一区合同で災害時避難経路について（自主防災組織員、社協、支援センター）

※活動実施については、必要に応じて各関係機関や協力団体等へ参加の要請をして

いる。

7. 事業の成果及び問題点

①防災意識の向上を目的とした講演会の実施

防災意識を向上させるため、社会福祉協議会提案による「防災講演会」を開催する。北九州市在住の九州防災パートナーズ藤澤健児氏を招き、「災害時準備をしておくべきこと」について実施。九州で起きた大雨災害時の写真や映像を交え、防災（避難）への意識が上がった。

②避難訓練の準備を進めるなかでの問題点

各行政区による調査にバラつきがあり、毎年訓練を実施している行政区はスムーズに調査を進めていたが、約3割の行政区において要支援者の調査名簿の未提出があった。その他避難訓練を辞退したいと申し出る地域が続出したため、訓練実施日程を延期した。各行政区に自主防災組織はあるが、機能していない。

③防災マップづくりによる情報共有の問題点

- ・個人情報をごどこまで開示するのか
- ・身体的な障がいでは手を挙げやすいが、精神的な障がい者本人、家族とも面会ができないため、承諾が得られない
- ・支援する者を誰に依頼するか（マッチング⇒避難時の支援者と要支援者）
- ・各行政区で区長が見守り活動員となっているが、1年で交代する組長に依頼できるのか
- ・寝たきりの人、足の不自由な人の避難時は、一対一の対応では無理ではないか

8. 今後の課題

校区全体で同時に避難場所である仲津公民館への避難訓練の実施は、①各行政区により周辺状況が異なる。②行政区によっては、独自に避難場所を設定している。などの理由により、まずは、それぞれの行政区で災害への意識を啓発し、出来ることから実施していく方が、より避難行動がとりやすくなるとの結論に達し、中止した。

以上の反省点により、令和元年度にワークショップを開催し、各行政区での支え合いについて考え、手上げ方式で防災訓練（避難訓練）を実施している。

校区全体での避難訓練は実現できなかったものの、今回、災害時での要支援者避難訓練を考えることにより、日頃の問題点を確認でき、最終的には地域の繋がりへの再構築につながったと考えている。

問い合わせ先

〒824-0003 福岡県行橋市大橋一丁目9番26号

行橋市中央公民館

TEL : 0930-22-3911 FAX : 0930-22-3137

E-mail : k-yukuchuou@community-yukuhashi-city.jp